

2022年6月20日

次世代を担う人材の確保と働きがいの向上に向けて

2023年度の高卒初任給を20万円台に上げます

～あわせて若年層の基本給を上げます～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）及び、主に当社鉄道事業に係る業務を受託する機能別会社4社（東武ステーションサービス株式会社、東武エンジニアリング株式会社、東武インターテック株式会社、東武シェアードサービス株式会社）では、優秀な人材の確保、社員の働きがいの向上などを目的に、若年層を対象とする給与の重点配分施策として、2023年春までに段階的に新卒初任給を上げ、**高卒初任給については20万円台とします。**2022年度については下記のとおり新卒初任給及び若年層の基本給上げを実施します。

1 新卒初任給の引上げ

機能別会社の2023年度高卒初任給を段階的に20万円台まで上げます。そのため、東武鉄道を含めた2022年度新卒入社者の初任給を下記のとおり上げます。

所 属	2021 年度	2022 年度 ※4月1日に遡って適用	2023 年度（予定）
東武鉄道（ポテンシャル採用入社者）	218,500 円	223,500 円 (+2.3%、+5,000 円)	230,000 円 (+5.3%、+11,500 円)
機能別会社（高卒）	181,500 円	188,500 円 (+3.9%、+7,000 円)	200,000 円 (+10.2%、+18,500 円)

（ ）は2021年度との比較

2 若年層の基本給引上げ

東武鉄道及び機能別会社において対象となる若年層の基本給について、2022年4月1日に遡り最大で7,000円引上げ、底上げを図ります。定期昇給相当と合わせ2022年、2023年（予定）の2か年で約1割の基本給増となります。

東武グループでは、「人にやさしく 人と地域が共に輝き続ける社会」の実現を目指し、多様な社員の「能力と可能性」向上を重要課題として掲げ、様々な投資や取り組みを実施しております。人材は東武グループにとって重要な資産と位置づけ、自ら考え自ら行動する人材、地域と共に発展を志す人材の育成に向け、社員の資質と技術の向上を図っております。引き続き様々な施策により、社員の働きがいや東武グループとしての生産性向上を図り、ステークホルダーに更なる価値の提供を目指してまいります。